

事業所だより

門司病院

臨床検査課

臨床検査課とは、病院にお掛かりの患者さんの病気の診断や治療を行うため、また、経過を観察するために、その時の傷病の状態を正しく評価するための検査です。

検査には患者さんの身体を直接検査の対象とする生理機能検査と、患者さんから採取した検体を対象とする検体検査に大別することができます。

生理機能検査では、心電図・肺機能検査・エコー検査などを実施していますが、直接身体に触れる検査なので、患者さんに対して十分な説明のもと安心して検査を受けていただけるように心がけています。

検体検査では、患者さんから採取された様々な検体（血液・尿・糞・体腔液・喀痰・組織など）を対象として、正確なデータを早く患者さんのもとへお届けするよう検査に臨み、質の高い検査を維持できるよう努力しています。

さらに人間性を尊重し、心温かい最善の医療を目指す門司病院では臨床検査課も基本理念と同じ姿勢で臨み、いつでも検査を通して病院機能に貢献できるように臨床検査課全員が日々努力しています。

わかば保育園

敬老の日

9月20日（月）は、敬老の日。

おじいちゃん、おばあちゃんが大好きな子ども達が日頃からの感謝の気持ちを込めて手作りのハガキを送ることにしました。各クラス写真を貼ったり、お絵描きをしたり、「いつまでも元気でいてね」とメッセージを書いて製作をしました。年長さんは、宛名を自分で書きました！それぞれ思い思いに作り、とても可愛いハガキができました！

完成したハガキを送るためにみんなで昭和病院前のポストに歩いていきました。「おじいちゃん、おばあちゃんに早く届くといいな」と楽しみしながら自分でつくったハガキを投函した子ども達でした。

敬老の日が過ぎると、「届きました。可愛かったです♡」「おじいちゃん、おばあちゃん達が喜んでいました！」と保護者の方々から沢山の声がかけました。今は、コロナ禍のため、なかなか会う機会ありませんが元気な様子を伝えられることができてよかったです。

『里芋のカレーマヨ炒め』

健康レシピ
始まりも嬉しい秋の食材
里芋

材料（2人分）

- 里芋………2～3個
- しめじ……1/2パック
- カレー粉……小さじ1
- マヨネーズ…小さじ1
- すりおろしにんにく…（好みで）小さじ1/4
- めんつゆ…大さじ1/2
- 塩・こしょう…少々
- サラダ油……適量

作り方

- 1 里芋は皮を剥き、一口大の乱切りにする。水で軽く洗い、ラップをかけて電子レンジ（600W）で4分程度加熱する。
- 2 フライパンにサラダ油を引き、にんにくを入れ弱火にかける。香りが出たら中火にしめじを加える。
- 3 2に里芋を入れ、さらに炒める。
- 4 カレー粉、塩・こしょうを入れよく炒める。
- 5 最後にめんつゆとマヨネーズを入れ、絡めたら完成。

編集後記 **よしみず病院開院に向けて…**

いよいよ病院移転が目前になりました。11月18日には竣工式が行われました。20日には内覧会が開催されます。12月1日の患者移送に向けて、職員総出で準備を進めています。

移転後も、最初は色々慌ただしくなる部分もあるかと思いますが、新しい病院で気持ちを新たに頑張って参りたいと思います。

ご案内

オンコール便について

当院では来院者送迎サービス(オンコール便)を行っております。受付窓口やお電話にてお申し出いただければ、車での送迎をいたします。来院時・お帰りの際は、お気軽にご利用下さい。

昭和病院へ ウエストジャパン 看護専門学校	昭和病院より サンデン交通バス 「汐入町」バス停
正面玄関	発車時間：毎時00分・30分
西中国信用金庫 セブンイレブン	※最終便是午後5:20発

昭和病院 ☎ **083-231-3888**
平 日 午前9:00～午後5:30 (※午後0:00～午後1:00は運休)
土曜日 午前9:00～午後0:00 (※祝日は除く)

時 ときよ 廿

発行：特定医療法人茜会 山口県下関市汐入町35番1号 TEL.083-231-3888

茜会理念 ● 特定医療法人茜会は、外来・入院・在宅の三位一体の総合医療を目指し、地域医療に貢献します

昭和病院理念 「和」 患者・職員・地域の和

昭和病院 基本方針

1. 患者の権利と尊厳を守り、良心と誠意を持って接します
2. 外来・入院・在宅において、切れ目のない医療・介護・リハビリテーションを提供します
3. 地域で信頼される病院を目指し、安全で質の高い医療・介護を追求します
4. やりがいのある職場づくりに努め、チーム医療を実践します

令和3年11月20日に「よしみず病院」内覧会を行います。この内覧会は、予約不要で、当日参加になります。内覧会の時間は10時から16時で最終受付は15時30分です。注意点としては、37.5℃以上のねつや、せきなどの体調不良がある方は、入館をお断りする可能性があります。また、マスクは必ず持参ください。ぜひご来院ください。
(限定されたエリアのみの内覧となります)

医療法人茜会 脳神経筋センター よしみず病院 内覧会のご案内

Contents

よしみず病院 内覧会のご案内	表紙
事業所だより	2
門司病院／わかば保育園	2
健康レシピ	6
研修医ご挨拶／梅光学院大学・東亜大学との連携授業	3
TOKYO2020パラリンピックを経験して	4
安全運転研修開催／山口銀行職域接種／学びの講座	5
健康レシピ	6
編集後記	6



色々な話題が盛りだくさん

茜会TOPIC

研修医ご挨拶

みなさんこんにちは。2021年10月より昭和病院で勤務することになりました、医師の檀伊文(たん いぶん)です。最近はまっていることは釣りで、防波堤をはじめ、船で鯛やブリなども狙ったりしています。昭和病院で勤務の前は福岡大学病院の呼吸器内科に入局し、主治医として働いておりました。名前からお察しの方も多いかもしれません、出身は日本ではありません。中国で生まれ育ち、6歳のときに日本に来ました。そこ



たん いぶん
檀伊文さん

からは両親の都合で日本各地(滋賀県、東京都)を転々とし、大学で福岡大学に入学しました。卒業後はそのまま福岡大学病院で勤務となり、研修医を経て呼吸器内科に入局することになりました。2021年度から内科専門医を取るにあたって、1年間昭和病院で勤務することになり、10月から勤務となりました。将来的には呼吸器内科でも無呼吸症候群をメインにやっていくと考えております。私自身、無呼吸症候群があり、学生の頃から治療しております。その結果、様々な症状が改善し、今後は無呼吸症候群の治療の必要性を世の中に認知していただき、治療で改善できる方を一人でも増やしたいと考えております。1年という短い間ですが、みなさんよろしくお願いします。

梅光学院大学・東亜大学との連携授業



梅光学院大学の授業風景

令和2年度より3年度にかけて梅光学院大学のPBLの取組に協力しています。

PBLとはProject Based Learningの略でプロジェクト型課題解決学習のこと。病院側から大学へお願いした課題は「地域に愛される病院づくり」。よしみず病院が地域の皆様に親しみを感じてもらうにはどんな取組をしたらよいか——学生の皆さんが検討を重ねまずは地域のニーズを探るためにアンケートを実施したところ1,000件以上の回答を得ることができます。地域の方々のよしみず病院への関心の高さ



シーモールにて街頭アンケート

が伺えます。これからアンケートの内容を分析し、よしみず病院での取組につなげていくところです。

令和3年度から東亜大学ともPBLの連携をスタートしました。運動療法に関心のある学生の皆さんと病院内での取組を計画しています。

大学との連携を通して、若い学生の皆さんの瑞々しい感性を吸収し、新しいニーズに注目することで、地域の皆さんに信頼され愛される病院になるためできることを実践していきます。

TOKYO 2020パラリンピックを経験して

2021年8月から開催された東京パラリンピックのメディカルスタッフとして参加しました。車いすテニス競技を担当し、会場は江東区にある有明テニスの森でメディカルスタッフの一員として8月26日～9月4日の10日間携わりました。東京パラリンピック日本選手団主将でもあった国枝慎吾選手の涙の金メダル獲得をテレビの前で観た人も多いのではないでしょうか。日本チームは、シングルスで金メダル1個、銀メダル1個、ダブルスで銅メダル2個獲得しています。

会場での主な仕事は、日本人選手や海外選手のストレッチやマッサージ、テーピング、アイシングに使用する氷の準備、アイスバスの準備等を実施していました。全国より理学療法士やアスレティックトレーナーなどでフィジオチームを構成し、1日10名程度配置され、医師や看護師と同じメディカルチームとして関わっていました。無観客だったのが残念でしたが、選手の車椅子を操作しながらラケットを振るチアワークや気迫のこもった声などが会場に響き、白熱した試合を生で見ることもできました。

2018年から書類審査やオンライン面接、2019年は東京での事前研修会に参加したりしましたが、コロナ禍で開催が1年延期され大会自体がどうなるか不安でした。2020年はほとんどオンライン研修で

の受講で、事前準備はどうにか進んでいましたが、ようやく2021年に開催され、とても貴重な経験を得ることができました。東京パラリンピックに参加する期待よりコロナ禍の不安や心配の方が大きかったですが毎日PCR検査を受けるなど、現場では感染対策もきっちりされており、関係者の感染はほとんどありませんでした。

今回の東京パラリンピック参加は何にも替えられない貴重な経験だと思います。あきらめず挑戦し続けることは本当に大切だと感じました。参加にあたり、職場や家族の理解に感謝したいと思います。今後、この経験を活かして当院や地域へ貢献できたらと思います。

リハビリテーション部 理学療法士
濱口隼人

安全運転研修開催

令和3年9月7日に、在宅医療部より、在宅事業所12ヶ所に向けて、安全運転研修をオンラインで開催しました。まずは、全日本交通安全協会推薦の「事故をおこさないための運転行動」というビデオを流しました。内容は、ドライブレコーダーに記録された事例から、事故につながりやすい状況を抽出し、予測される危険を示し、安全確認の方法や危険に備えた運転の方法を説明したものでした。その後、在宅医療部の肱岡課長より運転時のお願いというテーマで、横断歩道における歩行者優先、早めの意思表示、ゆづる精神などのお話ををしていただきました。研修を受けた職員からは、「その日の体調や精神状態、また道路状況によっても事情は異なってくるので、どんな状況下にあっても事故を起こさない運転を心がけようと思った」

や「自転車や二輪車は、運転者の死角に入ることが多いと感じた」や「自分の車の存在や行動の意思を、後続車や歩行者に早めに認識してもらうことが大切と分かった」などの声がありました。

普段、安全運転をしていると思っていても、たまたま事故に繋がっていない可能性もあるので、定期的に研修を開催し安全運転の意識付けをしていくことが大切だと思いました。

山口銀行職域接種

当院では、9月から10月にかけて、株山口銀行フィナンシャルグループ様が主体となって行われる職域接種に協力いたしました。吉水理事長と当院の医師が問診を行い、看護師が複数名でワクチン接種や接種後の状態観察を行いました。今回の職域接種では延べ約3000人の接種が行われ、新型コロナウイルス感染症の終息に貢献できたものと思われます。

学びの講座

8月23日ウエストジャパン看護専門学校にて、学びの講座を行いました。まず、学びの講座についてですが、地域の企業と学校の連携による社会体験、企業との結びつき、地元企業を知ってもらう、

というところから始まった企画です。今回は、勝山中学校が主体となって、場所を医療法人茜会が提供するという形でした。このような活動を通して、地域に地元企業に興味を持ってもらいたいと思っての企画です。

今回行った、第一回目の学びの講座は、参加者は学生7名、一般の方5名でした。今後も学びの講座のような企業と学校との連携した活動を行っていく予定です。

3

4

5

茜会TOPIC